

今月の管内農業情報（田原農業改良普及課）

[2026年6月11日]

4月の農業情報

タイトル 田原市内で田植作業が始まる

とき 2026年4月

ところ 田原市

主体・対象 水稻栽培農家

内容

豊川流域では昨年夏から少雨が続いたため宇連ダムが枯渇し、3月27日には豊川用水の節水率が50%（農業用水）まで強化された。田原地域は極早生品種の「あきたこまち、コシヒカリ」が9割を占める地域で、例年4月上旬から配水が始まり、4月下旬には本格的な田植えシーズンとなる。今年は、水不足の中、県の要請に沿って農家が畦塗り後に水尻を止め、雨水やため池の水を利用し、準備を進めてきた。その後はまとまった降雨があり、4月15日に農業用水の節水率が20%に緩和された後は、これまでの準備により、田植え作業の開始につながった。



「あきたこまち」の田植作業